

2025 年度大学院入学試験（専門科目）出題意図

科目名	民法
問題	
下記の【問題 1】【問題 2】のうち、いずれか 1 題を選択し、解答しなさい。 【問題 1】 相殺の担保的機能について考察せよ。 【問題 2】 相続放棄の熟慮期間の起算点について論じよ。	
出題意図	
問題 1 相殺の担保的機能について、民法の債権法および物権法の知識を基にした思考力を問う問題である。民法が定める相殺制度について、その制度意義を踏まえたうえで、担保的機能が諸場合においてどのように作用するのかを考察する。判例および学説の知識をもとに、担保物権制度との比較を交えながら論理的な検討がなされているかを問う問題である。 問題 2 相続放棄の熟慮期間の起算点について、民法の相続法の知識に基づく思考力を問う問題である。相続における熟慮期間の意義を踏まえ、相続放棄の場合の熟慮期間の起算点に関する学説や判例（最判昭 59・4・27 民集 38 巻 6 号 698 頁等）をもとに、論理的な検討がなされているかをみる。	